

2024.03.31. 復活祭：キリストの復活が私に意味するもの。

ヨハネの黙示録 1 章 4 節から 8 節 (1)

JD ファラグ牧師

一緒に祈りませんか？ 私たちの心を祈りによって主に捧げます。おお、主よ。ありがとうございます。主よ、あなたは偉いなるお方。今朝、そのことを祈ります。主よ、あなたがどれほど偉いなるお方なのか、まだ知らない人がいるなら、今日が知るその日でありますように。主よ、御言葉にあるこの時を感謝します。御言葉は私たちの人生に非常に大切です。ですから、聖霊よ、私たちに語ってください。今日、御言葉にある祝福を見逃しませんように。主よ、JD 牧師を奮い立たせ、強め、見守り、彼の家族をお守りください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。この日、私たちは祝うのは、『復活の日曜日』です。ご着席ください。来てくださり大変嬉しいです。オンラインの皆さんも参加くださり大変嬉しいです。始める前に、お知らせしたいのは、今週、4月2日火曜日、午後7時、ここ礼拝堂で祈り会があります。是非、来て参加されることをお勧めします。先週の日曜日、3月24日の「聖書預言・アップデート」のライブ配信で、出現した悪霊について取り上げます。特に、実際に何が起こったのか、またなぜ私たちがとった行動をとったのか、その多くの疑問に関連します。そして聖句に目を向け、悪魔の活動の現実を語ります。悲しいかな、ほとんどのクリスチャンが、甚だしく世間知らずだからです。甚だしく世間知らずというのは、両極端で、その第一は、扇情主義/センセーションナリズム。あらゆるものすべてに悪魔的なものを見ること。そして逆に、2つ目の極端は、私が呼ぶ終焉説：正反対の、悪魔的なものを否定する考えです。サタンはこの両極端に存在します。私たちがそうであれば、彼は嬉しいでしょうね。ですから、火曜日の夜に成し遂げたいのは、深く分裂している問題に対して、聖書的にバランスの取れた回答を提供することです。ですから再び、火曜日夜7時、ぜひお越しください。尚、オンラインでの開始時間は午後7時30分ではなく、7時です。木曜日は変わらず、「ダニエル書」の節ごとの学びを続け、今日、私たちは「ヨハネの黙示録」の節ごとの学びを続けます。

「はい、でも牧師さん、今日は復活の日曜日ですよ。復活の日曜日の説教はどこですか？今、私は愛を感じません。」— (笑) — え〜っと、神だけがおできになり、神だけが為されたこと。私たちが「ヨハネの黙示録」を通して、節ごとに学ぶタイミングを、神はこのように計ってくださいました。先週は3節だけを学びました。急がずに。今日は4節からで、意味深ですけど、3節の後に4節が始まります。ご存知かわかりませんが、今日の私たちの目の前にある箇所のご真ん中にあるのは、、、お待ちを。「復活」です。

ですから、これが私の話で、こだわりです。それが前置きです。可能であれば、ご起立いただき、私が朗読するのについてきてください。4節から、聖霊によって導かれ、ヨハネが書き続け、自分自身を特定させします。

—ヨハネの黙示録 1：4—

ヨハネから、アジアにある七つの教会へ。今おられ、昔おられ、やがて来られる方から、また、その御座の前におられる七つの御霊から、

—ヨハネの黙示録 1：5—

また、確かな証人、死者の中から最初に生まれた方、・・・

それが「復活」でそこにあります。

・・・地の王たちの支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにあるように。私たちが愛し、その血によって私たちが罪から解き放ち、

—ヨハネの黙示録 1：6—

また、(また/and がたくさんです。) **ご自分の父である神のために、私たちが王国とし、祭司としてくださ**

った方に、栄光と力が世々限りなくあるように。アーメン。

まだ続きます。私は7節が大好きです。読ませてください。OK? 見よ、その方は来られる!!! (ヨハネの黙示録 1:7 冒頭参照) いや、そう書いてあります。強調効果入れました。7節、

ーヨハネの黙示録 1:7ー

見よ、その方は雲とともに来られる。・・・

これは再臨です。見よ、主は来られる!

・・・すべての目が彼を見る。彼を突き刺した者たちさえも。地のすべての部族は彼のゆえに胸をたたいて悲しむ。しかり、アーメン。

まだ続きます。8節です。「わたしは・・・」注目ください。角を回って、ヨハネからイエスに変わります。

ーヨハネの黙示録 1:8ー

神である主、(2度目▶)

) 今おられ、昔おられ、やがて来られる方、全能者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。」

わお！ ご一緒に祈りましょう。お父様、ありがとう、ありがとう、ありがとう、ありがとうございます。この日をありがとうございます。私たちは『復活の日曜日』を祝います。十字架へ行ってくださりありがとうございます。葬られた後、三日目に復活して下さり感謝します。あなたが、ある日、すぐにもう間もなく、戻られることに感謝します。ですから主よ、私たちは今日、それを祝いたいのです。今日私たちの目の前にあるこの箇所を同様に祝いたいのです。あなたがいつも大変ご忠実であられるように、何よりもまず、私たちの心を落ち着かせてくださいますか？ 不安や色々なことがたくさんあり、人々の生活はあまりにも狂って、とてつもなく狂っています。起きているすべてのこと。世だけでなく、私たちの生活で。ですから、私たちにとって、ここはあらゆる意味で聖域です。ここは私たちにとって来る安全な場所、あなたの教会です。あなたの御言葉を聞く場所です。ですから主よ、私たちはあなたの御言葉の中で、共に過ごす時間を大変大切にしています。私たちはそれを切望し、待ち望みます。確かに、今日あなたが私たちのためにご用意されていることを楽しみにしています。ですから、心を落ち着かせられるだけでなく、思いを集中させ保ってください。あなたが今日私たちのためにご用意されていることを邪魔され奪われたくないからです。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。では、今日の『復活の日曜日』の説教は、「ヨハネの黙示録」の節ごとの学びの続きで、4節から8節に、この箇所の中心テーマとして、『復活』が織り込まれています。このように言わせてください。わからないけど、私は扇情的で劇的に見える傾向があります。私の国の習慣です。ですから、、、つまり、これは素晴らしく壮大なこと。素晴らしく壮大な啓示/黙示で、イエス・キリストの復活が私たちに対し、そして私たちのために意味すること。この2つを区別しましょう。これは私に意味すること。これはあなたに意味すること。さらに、これは私のために意味すること。そして、これはあなたのために意味すること。3つあります。私は3つを見つけました。あなたはもっと見つけるかもしれません。きっとね。しかし、私は復活に関する3つの素晴らしく壮大な意味を見つけました。具体的に、私に対し、あなたに対し、私たちに対しての。こんな風に言ってみます。もし復活がなかったら、今日皆さんにお伝えしたいことは取るに足らないことです。何の意味も価値もありません。実際、これをしないでください。みんな荷物をまとめて帰れます。帰らないでね。でも、もし復活がなかったら、そうなり得ます。そのうちの3つを紹介したいのです。もう1回言ってもいいですか？ 言わせてください。素晴らしく壮大なイエス・キリストの復活の啓示/黙示が、私に、私のために、あなたに、あなたのために、本当に意味すること。1つ目は、4節にあります。『イエスは私に平安を与えてくださる。』私にもそれが必要です。2つ目は5節と6節で、『イエスは私を愛し、自由にしてくださる。』3つ目は、7節と8節で、『イエスは私のために来てくださる。』「おお、もちろん、JD牧師、あなたは説教にそれを持ち込みますよね。」いいえ、すでにそこにあります。持ち込む必要はありませんでした。もうそこにあります。「どういう意味ですか？ 携挙がここにあると言うのですか？」はい。「まさか。でもJD牧師、無理やり(バナナの中に)、患難前携挙が見つかるのでしょうか。」見つかるかもしれませんね。つまり、十分な時間があればね。しかし、これはそういうことではありません。それはすべて美しいのです。OK。もう1回。素晴らしく、壮大なことが、私たちのためにここにあります。復活のゆえに。私も含め、すべての人が本当に祝福されることを願います。先週の3節で学んだように、「ヨハネの黙示録」は聖書の中で唯一、読み、聞き、心に留める者に祝福を約束する書です。私たち全員が、目の前にあるこの箇所によって本当に祝福され、この『復活の日曜日』を神の御言葉で大いに励まされることを願います。準備はいいですか？ 1つ目に入りましょう。4節、

#### 1. 『イエスは私に平安を与えてくださる。』

平安だけでなく、恵みと平安です。新約聖書の結合双生児と愛称されます。それは当然で、神の恵みを味わうまでは、神の平安を知ることはできないからです。主を味わい、主が良いお方であることを知り、神の恵みを知り、それを受け入れるとき、あなたは知るのです。神の平安、平安の神からの神の平安を。

聞いてください。これを見逃さないでください。意地悪に聞こえますか？ OK。よし。聞こえるようにしますから。いやいや。ー(笑)ー 意地悪に聞こえてほしくありません。しかし、自分を例にしてみます。私は敬虔な牧師ですから、私はチームのために犠牲になります。私も隣の人と同じような傾向があります。4節を読み、5節を読み、どんどん読み過ぎます。いいえ、止めてください！ ヨハネが聖霊に導かれ、こ

ここで何を言っているのかわかりますか？ まず初めに、彼は自分を明らかにします。「ヨハネです。私は7つの教会とあなたに手紙を書いています。」「私に語っているんですか？」「はい。あなたに！」「私に？」

「はい。」「何のために？」「恵みと平安をあなたに。」「OK。話してください。あなたは私の注意を引きました。」神の恵みが必要だからです。しかし、神の恵みによって、私は歩み、私には神のあわれみも必要です。恵みとあわれみの美しい関係をご存知ですか？ ある人が適切に言ったように、恵みとは、神があなたに値しないものを与えられること。あわれみとは、神があなたに値するものを与えられないこと。私はそれについて考えたくもありません。私は両方いただきます。大変ありがとうございます。どこに署名すればいいですか？ 私は神の恵みが必要です。神のあわれみが必要です。私が神の恵みを受け、私が神の恵みを受ける者であるとき、神の平安がもたらされます。私は神との平安があるだけでなく、神の平安があります。人々が不安でいっぱい、平安の対極である不安にさいなまれるこの世で、ここにあなたに、あなたのために平安がある。イエスがあなたのために、あなたの代わりに死んでくださったからです。それが、イエスがあなたに与えられるものです。留意もしてください。ここにあるのは、、私たちの今日の箇所を2回見ますが、まず、ここ4節にあります。イエスは、今おられ、(現在)昔おられ、(過去)やがて来られる。(未来)つまり、神は時間の外に住まわれます。神は永遠に住まわれます。できるだけわかりやすく説明します。4節は、かなりいっぱい詰まっているので、最善を尽くします。イエスは、天地創造以前から存在されました。それをご存知ですね？「創世記」1章です。

「人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。」(創世記 1：26参照)

三位一体は、聖書全体を通して至るところにあります。興奮するのは、、、実は、もう興奮することはありません。物事から刺激を受けるには年を取りすぎていて、実際、私はイライラします。ー(笑)ーただオープンに話しているだけです。私を霊的な目で見ないでください。あなたも同じことをしますって。人がこう言う時、「三位一体という言葉は聖書に出てきません。」もちろん、敵は知っています。私を本当にイラつかせるのは、「聖書には携挙という言葉すらない。」お利口さん、これいかが？ 聖書という言葉は、聖書の中にはないでしょ？ それいかが？ それをしないでください。それはただ、意地悪なだけ。でも、必要なら意地悪できます。実際、携挙という言葉は、、、これを明確にします。どうやら胸のつかえを取る必要があります。携挙という言葉は聖書にあります。もし、あなたがウルガタ聖書を持っていれば。ハハハハ。「第一テサロニケ人への手紙」4章を、今から見るから、今日、2時か3時までかかるでしょう。ランチの予定があるなら、ごめんなさいね。三位一体はどうですか？ 三位一体という言葉は、技術的専門用語として聖書にはありませんが、三位一体は聖書の至るところにあります。父なる神、子なる神/イエス・キリスト、聖霊なる神。三位一体がなかったら、「創世記」は読めません。「人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。」(創世記 1：26参照)

代わりにこう読めます。これはほとんど神を冒瀆しています。この言葉を口にすることも、そう感じます。「わたしに似せて人を造ろう。」なら。まるで私たちのように聞こえませんか？ それは対極で、正反対です。EVIL/悪 E-V-I-Lは、LIVE/命/生きる L-I-V-Eの反対です。人が神に似せて造られました。私たちは神を、、、それが、旧約聖書で、民がしたこと。彼らは基本的に、自分たちに似せて神々を作りました。違います。「人を三位一体/われわれのかたちとして、三位一体/われわれの似姿に造ろう。」(創世記 1：26参照)ですから、イエスはそこにおられました。イエスはいつもおられました。

「(主) わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。初めであり、終わりである。」(黙示録 22：13)

どういう仕組みですか？ 天国に行けば、すぐにわかります。永遠のすべてで、そのような質問をしません。必ず答えはわかります。復活の日曜日を台無しにたくありませんけど、あなたは質問のリストがありますね？「天国に行ったら、神に尋ねます。」いいえ、あなたは尋ねません。つまり、天国に行くと、あなたはこんな感じで、(うわ～～～)御座の前で礼拝します。これには臨床名があるのはわかりますけど、私の描写は、天の軍勢が現れてこう言う。

「待つて。JDよ、聞きたい質問がありませんでしたか？」「気にしないでください。今、わかりました。今、わかります。」私たちは栄光の体と、栄光の体に伴う栄光の思い(思考)を手に入れるからです。私たち

は永遠で、永遠に主を知り、主について学びます。主は永遠に住まわれます。

「神である主、(常におられ、)今おられ、昔おられ、やがて来られるお方。」(黙示録 1 : 8 参照)

さらに興味深いのは、ヨハネは続けてこう書くからです。「その御座の前におられる七つの御霊から、・・・」(ヨハネの黙示録 1 : 4 参照)

OK。それで本当に混乱しました。「私は神の三位一体の性質について考え始めていたからです。三位一体の神。でも、今は7つの御霊とあるけど、どうなってるんですか？」よくぞ聞いてくれました。先週を覚えていますか？ この場にいた人のために、そうでない人は完全に見逃しましたね。しかし、、、一(笑)一

意地悪でしたね？ 愛を持って。先週、「ヨハネの黙示録」が、聖書のどの書よりも旧約聖書を参照していることとその理由について話しました。暗号のように書かれていたのは、当時のドミティアヌス帝の迫害ゆえです。ですから、これらの手紙は小アジア(現代ではこんにちのトルコ)にある7つの教会に宛てた文字通りの手紙でした。その手紙がそれらの教会に辿り着くためには、ローマ人にとって、無意味でなくてはなりません。しかし、手紙を受け取る側にとっては、間違いなく意味がわかること。なぜか？ 彼らは聖書を知っていたからです。「ヨハネの黙示録」を通してすべて、旧約聖書が参照され、それは、暗号で書く時、受け取る側の人だけがその意味が理解できるような書き方をします。この言い回しをご存知ですね。「その場にいないとわからない。」面白くしようとして、私はよくそう言いました。「その場にいないとわからない。」誰も笑わない時には、「その場にいないとわからない。」って。彼らはそうでした。彼らはその場にいて、その手紙が旧約聖書を参照していることが分かりました。4節はその1つで、「ヨハネの黙示録」には404節あり、「ヨハネの黙示録」の全体の90%以上が旧約聖書を参照していると信じられています。ですから、彼らはそれを解読しました。この言葉は、すべてが隠されているように聞こえるから使いたくありませんけど、この「ヨハネの黙示録」は隠されているのではなく、啓示/黙示です。隠されているのではなく、明らかにされています。明らかにされています。覆われ、隠されていましたが、彼らは理解しました。

「おお、ヨハネだ。ヤツだ。(ヤツは原本にはありません。)[『イザヤ書』11章2節について書いている。] 読んでもいいですか？「七つの御霊」、それは聖霊(単数)の七重折りの御働きです。準備はいいですか？

注目ください。

### 一イザヤ 11 : 2一

その上に主の霊がとどまる。・・・(指に気をつけながら数えます。)1つ、それは知恵と・・・2つ、悟りの霊、・・・3つ、思慮と、・・・4つ、力の霊、・・・5つ、主を恐れる・・・6つ、知識の霊である。7つ、ブーン！ 決まり！ マイクを落とすって言いますね？彼らは、聖霊によって導かれたヨハネからこの手紙を受け取りました。ヨハネはこう言います。

「その御座の前におられる七つの御霊から」(ヨハネの黙示録 1 : 4 参照)

彼らはすぐに「イザヤ書」11章2節と結びつけました。そうすることで、ヨハネがたった1節で書いたことの全体像が変わります。まだ5節と6節にも辿り着いていないのに。初っ端の4節だけで、、、「その御座の前におられる七つの御霊」って、、、もう一歩踏み込んでいいですか？なぜ私は許可を求めるのか？ 私は丁寧な者ですから。次へ進む前に、これらをサッと見てもいいですか？ 主の霊？ 知恵の霊？ 悟りの霊？ 思慮の霊？ 素晴らしい助言者。力の霊？ 知識の霊？ 主を畏れる霊？ 再度、七つです。完成数「7」が、この書の至る所にたくさんあります。今日の「聖書預言・アップデート」でこれについて話しました。「民数記19章」からの非常に魅力的な学びで、赤い雌牛について、赤い雌牛の灰についてです。七つの場所に振りかけられました完成数「7」です。7箇所から血を流されたキリストの御姿。両足で2、両手で4、背中の鞭で5、頭に突き刺さった茨の冠で6、脇腹に突き刺さされた剣で7。完成。

### 「完了した。」(ヨハネ 19 : 30)

ですから、教会時代の完成を表す7つの教会を私たちは与えられました。それが2章と3章です。聖霊の七重折り/七つの働き。このように言ってもいいですか？「聖霊の完全な御働き」がここにあります。4節だけで。5節と6節には何があるのか？ さらに良くなります。そう、『私への平安。でも、私のための愛と自

由。』つまり、あなたが私同様なら、そうだと思いますけど、愛の使徒ヨハネと愛称されるヨハネのことが大好きになるでしょう。先週も話しましたが、ヨハネはここまで言います。今日の文脈でもう一度繰り返す価値があると思います。しかし、福音書に登場するヨハネは、同じヨハネで、福音書を書くように導かれました。これは、同じヨハネで、私たちは第一、第二、第三「ヨハネの手紙」を学び終えたばかりです。それは同じヨハネで、西暦 95 年頃、パトモス島に追放され、この啓示を受けました。ここで書いているのは誰か？ 私たちが話しているヨハネです。いいですね？ 彼はまだ生きています。沸騰した油の釜に投げ込まれた後です。それについては先週話しました。ローマ人にとって、それはどれほど奇々怪々なことか？

「あいつはそこに放り込んで死なない。ヨハネをどうする？」「パトモス島に追放しろ。間違いなくそこで死ぬはずだ。」ヨハネはそこでも死にません。聞いてください。あなたはその日その時が来るまで死にません。神が私たちの誕生の日も、死の日もその御手の中に握っておられます。私はヨハネのような経験はありません。オイルジャグジーなら、残念ですけど。まだ続きます。まだ島があります。保養地。本当は違うけど、、、言い過ぎですか？ですから、聖霊に導かれ福音書を書きました。主がヨハネにこれを許されました。ヨハネはいつも、イエスが愛した弟子だと指摘します。ヨハネは自分のことを三人称で語ります。その意味は、私はイエスが愛された唯一の弟子。他の弟子たち？ いや、主は彼らに我慢されましたが、私を愛してくださいました。ー（笑）ー そこにはいつも、、、私はそこにユーモアを感じます。聖化されたユーモアで、薬にもなりますよ。が、ヨハネとペテロの関係で、神の恵みで、信じなければならず、一緒に思い浮かぶのは、ちょっとだけ言えますけど、陰悪な時があったこと。特に復活の時。ご存知、ヨハネの記述、「ヨハネの福音書」で、その日の早朝のこと。ヨハネは、はっきりとこう書いています。ヨハネは、ペテロを追い越して、墓まで先に行った。（ヨハネ 20：4 参照）

本当です。「ヨハネの福音書」を読んでください。実際、ネットフリックスよりも良いです。ヨハネはこう言うからです。「私たちと、、、それからペテロ。」いいえ、本当に。マジです。「～と、それからペテロ。」こんな感じです。「ああ、そうそう、それとペテロ。」誰かがこんなふうにする感じ、「紳士と、、、ああ、JD もね。」ー（笑）ー わお！ わお。本当？そう、「それからペテロ。」は紳士じゃないような感じで、彼は弟子の一人ではないかのようです。「私はイエスが愛された弟子！」です。何かわかりますか？ 弟子たちは皆、自分が愛されていることを知っていました。しかし、愛の使徒ヨハネは、イエスが本当に自分をもっと愛されたことを私たちにただ知ってほしかったのです。で、どこへ向おうとしているのか？ イエスはあなたを愛しておられます。これが私の知っていること。聖書がそう語っているからです。何が悲しいかと言うと、、、前にも分かち合いましたけど、お許しくださいね。適切な機会だと思います。悲しいことに、愛という言葉にパンチがない現代に私たちは生きています。「愛してるよ。」「うん、私も愛してる。」「イエスはあなたを愛されています。」「うん、イエスが私を愛されているのは知ってる。」「神は愛です。」「はい！神は愛です。」このように言い換えたらどうですか？「イエスはあなたをお好きです。」「イエスが？！イエスが私をお好きだって？」これ、何が起きたのか？ Love/愛すという言葉が、Like/好きという言葉より低い位置付けになったのはなぜ？「イエスはあなたをお好きです。」「主が私をお好きだって?!」「はい、主はあなたを愛してもおられます。」「ペテロ、主はあなたも愛しておられます。」それは追記、注釈のような感じです。スクロールすると、「ああ、うん、主は私を愛しておられる。」いや、元に戻って、「主は私をお好きなの？」「事」の背後の「理由」を説明できるかどうか、、、イエスが私をお好きだと聞いた時、イエスは私に怒っておられないという意味です。結婚ではどのようかご存知ですね。私は誰とも目を合わせません。何度も私の妻が、、、もちろん私は牧師として、完璧な結婚生活を送っているのはご存知ですね。が、何度もあったのは、妻がこう言う。「私はあなたを愛しているけど、今は好きじゃない。」おお～。彼女は私を愛しているけど、問題は、今、彼女は私を好きじゃないこと。その方が重みがあるのは、推論は、、、再度、もし、あなたが、、、あなたが私を愛しているのは分かりますが、あなたが私を好きではないなら、私はその間違いを正さねばなりません。私のことを好きになって、SNS で友達申請をしてほしいから。ちなみに、私の投稿も気に入ってほしいです。"いいね！/Like"がすべてですから。よしてよ。よしてよ、教会にいるなら、正直になってください。ー（笑）ー ドーパミンのせいですね？ 誰かがこんなふうにする時、「私のこと好き？ 私あなたを好きです。」「私の投稿を気に入ってくれました。私もあなたの投稿が好きです。」ひっくり返ししましょう。公平を期すために。「あなたは私を好きじゃないですね？ 私あなたのこと好きじゃない。」ー（笑）ー でしょ？「で、待ってください。イエスが私をお好きだって?」はい。こう言ったらどうでしょう？ イエスがあなたをお好きなこと、或いは、愛しておられることを差し控えるために、あなた

にはできることは何もない。なぜそんな目で私を見るんですか？それは本当です。ここで再び、神の御言葉で、私たちが読むだけの箇所がたくさんあります。「はい、はい、はい、はい。知ってる。知ってる。知ってる。」違います。聞いてください。あなたは私を嫌いかもしれませんが、イエスは私をお好きです。それが全てです。あなたは私を気かけないかもしれませんが、イエスは気にかけておられます。あなたは私を喜ばせないかもしれませんが、そんな問題じゃありません。私は人を喜ばせようとする者じゃないから。私は、神を喜ばせる者です。私のしていることが神を喜ばせ、あなたを不愉快にさせるなら、どうです？ あなたは不愉快になる。ご機嫌よう。ここでセット取引に移ってもいいですか？ イエスが私を愛され、お好きだけでなく、私を自由にしてくださいます。これが、私がヨハネを好きなどころ、彼は核心を突きます。あなたの牧師とは違って。ヨハネがこう言います。イエスが私を愛され、自由にされるのは、イエスが私の代わりに血潮を流され、死者の中から復活されたことに関係します。そして、ヨハネはそれをそのままにしておきません。イエスは私たちへの愛によって私たちを自由にされるだけでなく、私たちが王国とし、祭司としてくださいました。(ヨハネの黙示録 1 : 6 参照)

私たちは皆、祭司です。ご存知でしたか？ ローブ/法衣が欲しいですか？ 手に入りません。それは祭司である意味じゃありません。— (笑) — 私たちは王の祭司です。私たちは王国を構成します。残りの時間は、ご想像通り、この3番目の7節から8節に使います。それは諺の、「ケーキの上のアイシング」的だからです。(さらに良くなります)

3.イエスは私のために来てくださる。

お付き合いください。ヨハネがこの節で書くことの最重要性を強調しすぎることはないからです。これにはいくつかの理由があり、その最たるものは、もし私たちがイエスの復活を祝うだけで、イエスの来臨を祝わないなら、私たちは最も哀れだと、思いませんか？ 私と一緒によく考えてください。福音は良い知らせという意味です。「良い知らせです。あなたの負債は支払われました。あなたは自由です。」

**子 (イエス) があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。(ヨハネ 8 : 36)**

「私の負債はどのように支払われたのですか？ ところで、私には何の負債があったのですか？」おお、(罪の罰則) 死刑です。本当？「私の代わりに誰かが死んだのですか？」はい。「その方のお名前は？」イエスです。良い知らせです。悪い知らせは、罪の報酬は死だから、あなたは死の宣告を受けていること。良い知らせは、イエスがあなたの身代わりとなられ、死なれたということ。そして三日目に死からよみがえられ、ある日また戻って来られます。今、議論のためにこのことだけ話しましょう。福音がこれだけだとしたら？

「イエスが来られ、十字架で死なれ、葬られ、死からよみがえられた。」良い知らせです。OK。それで？

「・・・」テキストメッセージで待ちますね。「・・・」を見たら。待つて。まだ文字を打ってる。待とう。(会衆：何か発言) はい。そう！ そうなんです。そして、「・・・」が消えて、あなたは、「おっ！おっ！何が起こった？」その話には行かない方がいいね。で、待つて。それだけ？ いや、それだけではありません。つまり、ここで私たちは今日、この神の教会でイエス・キリストの復活を祝います。しかし、イエスの復活がイエスの来臨を含まないなら、イエスの復活を祝うとは何ですか？ 皆さん、ついて来ていますか？ 「はい」と言ってください。先に進めますので。今、、、これを考えてください。イエスが死からよみがえられなかったとしたら、イエスは、死からよみがえった人々のために戻って来られるのではなくります。わかりましたか？ OK。主はよみがえられました！(会衆：主はよみがえられました！確かに！) ありがとうございます。わお。皆さん、良かったです。私は感動し、祝福されます。が、待つて。主は戻られますか？(会衆：はい！) そう、主は死からよみがえられましたけど、、、大変ありがとうございます。じゃあね。「わたしは死からよみがえりました。またね。」どこへ行かれるのですか？ 「いや、わたしは死からよみがえりました。自分のことは自分で、子よ。うまくいくことを願うよ。」— (笑) —

ポイントを説明するためにそう描写したかったんです。ポイントは何ですか？ ポイントは、良い知らせ/福音は、イエス・キリストの復活だけではなく、イエス・キリストの来臨です。イエス・キリストの復活ゆえに。理由は、もしイエスが、、、今、もっと悪くなります。もうあと少しです。ご辛抱ください。イエスが死からよみがえった人々のために戻って来られないなら、良い知らせではありません。福音じゃありません

ん。イエスの復活の後にイエスの来臨がないなら、福音はありません。OK。一息ついて落ち着いたら、叫ぶのをやめます。私があなたにこう言ったとしたら？ 福音の最初の言及、イエス・キリストにある救いの良い知らせが、書簡で初めて言及されたのは、患難前携挙を含む文脈です。さあ、あなたは狂った。(バナナの中) — (笑) — 狂った中に (バナナに)、患難前携挙を見つける必要はありません。至る所にあります。いいですか？「第一テサロニケ人への手紙」4章です。皆さん、この箇所をよくご存知ですね？ここに長く通っているのなら。これは、使徒パウロが、自分のミニストリー人生のまさに初期に、導かれ書いた最初の手紙です。このテサロニケの教会は、パウロが始めた教会です。パウロがテサロニケにいたのは、町から追い出される前の3カ月程(最高3週間という説も)でした。その時、パウロは人々をイエス・キリストについての救いの知識で、キリストに導きました。教会を始め、教会を開拓し、パウロは携挙について彼らに教えました。(ひ～～息を呑む)

「彼らは新しい信者です。新しい弟子訓練クラス、霊的成長クラスを学ぶべきではないですか？ 聖書 101 週間コースのようなものはないの？」ありません。中途半端にやってもしょうがない！ 聖書預言を教える「テサロニケ」に行く。パウロは患難前携挙について彼らに教えました。会衆は主にある赤ちゃんです。彼らはキリストにある幼子です。彼らは、神の御言葉と健全な教理に根ざした、いのちが始まったばかりの新しい信者たちです。また叫んでしまつてごめんなさい。非常に興奮しています。この人たちは私の大のお気に入りです。一瞬たりとも想像しないでください。パウロが、、、皆さんが私がすると思う通り、「パウロは、いつでもどこでも患難前携挙を入れ込む方法を考えている。」違います。パウロがする全ては福音を宣べ伝えること。福音とセットになるのは、患難前教会携挙です。これが福音だからです。:

イエスは来られ、十字架につけられ、葬られ、3日目に墓からよみがえられ、死を打ち負かされ、そして、ある日、教会携挙で再び戻って来られる。それが福音です。

「十字架刑、埋葬、復活。それが福音です。」とここで止めないでください。それは、「第一コリント人への手紙」15章、最初の4節です。しかし、それは最初の言及ではありません。最初に言及するという原則は、最初に言及するという原則：福音とは、十字架刑、埋葬、復活、そして教会携挙でのイエス・キリストの来臨です。今から読みます。たぶん、もう少し前にできたはず。— (笑) —

聞いてください。どのようにパウロが聖霊に導かれ、彼が語ることを彼が語る方法でこれを書くのか。

#### —I テサロニケ 14 : 13 —

(眠っている人たちについては、) 兄弟たち、あなたがたに知らずにいてほしくありません。・・・

OK。意地悪な言い方です。私がいらないと言いたいのですか？いいえ、「知らずにいてほしくない」と言っているのです。私は3カ月間そこにいて、あなたたちと一緒にいた時、このことを教えました。私があなたがたにこれを教えたんだぞ！！知らずにいてほしくないのです。

・・・眠っている人たちについては、(亡くなった人のこと)・・・あなたがたが、望みのない他の人々のように悲しまないためです。あなたは悲しまますが、イエス・キリストを知らない人たちのようにはなりません。その理由は、世が悲しむように、あなたが悲しまない理由がここにあります。キリストにある愛する人が亡くなったこと。あなたがたは、またその人たちに会えるのです。なぜそうなるのですか？ 14節です。よく聞いてください。

#### —I テサロニケ 14 : 14 —

イエスが死んで復活された、と私たちが信じているなら、神はまた同じように、イエスにあって眠った(亡くなった)人たちを、イエスとともに連れて来られるはずですよ。

続きます。

#### —I テサロニケ 14 : 15 —

私たちは主のことばによって、あなたがたに伝えます。生きている私たちは、主の来臨まで残っているな



ら、眠った（亡くなった）人たちより先になることは決してありません。

そこで止めます。パウロは携挙が自分の生きている間にあると考えました。「生きている私たち」って、パウロさん、この「私たち」というのは何ですか？ これは約 2000 年前でした。「生き残っている私たちは携挙される。だから、そんなに落ち込まないで。」「知らずにいてほしくありません。」を考えると、理由は、そう、彼らは震え上がっていました。パウロの偽の手紙があったからです。パウロの ID を盗み、個人情報盗み、パウロの名前を載せ、パウロの写真入りの SNS のアカウントを作り、携挙を逃したという投稿をし、彼らを怖がらせました。それがパウロが彼らに手紙を書いた理由です。パウロはこう言います。

「あなたがた、頼みますよ。冗談でしょ？ 私は教えましたね。無知であってははいけません。あなたがたは無知であってほしくありません。あなたがたは携挙を逃していません。」

そして、パウロは続けて、福音で彼らを励まし、再び、パウロは彼らを励まします。皆さん、14 節でそれを捉えられましたか？ それが福音です。

「生き残っている私たちは、、、」（I テサロニケ 14：15 参照）そして、16 節、

—I テサロニケ 14：16—

すなわち、号令と御使いのかしらの声と神のラッパの響きとともに、主ご自身が天から下って来られます。

その区別をしてください。くどい（直訳：ハープを鳴らす）のはわかります。ダジャレじゃありません。たくさんラッパについて。わかりました？ ハープとラッパ。御使いのラッパはイスラエルのため、神のラッパは教会のため。はじめのラッパはイスラエルのため、終わりのラッパは教会のため。これは神のラッパです。

・・・そしてまず、キリストにある死者がよみがえり、

それはあなたの愛する人たちです。私の母、私の娘、愛する人たち、この愛する教会で追悼式を行ったすべての人たち、彼らの体の復活が先に起こります。彼らの霊は、

「肉体を離れて、主のみもとに住む。」（II コリント 5：8 参照）

で、彼らは復活の時にまず体を手に入れます。

—I テサロニケ 14：17—

それから、生き残っている私たち（あなたや私）が、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられ、空中で主と会うのです。こうして私たちは、いつまでも主とともにいることになります。

そして、パウロはこう言います。18 節、

—I テサロニケ 14：18—

ですから、これらのことばをもって互いに励まし（慰め）合いなさい。

ですから、患難前携挙について非難される時、患難前携挙の健全な教理に、私は決して遠慮したり、臆したり、ためらったりはしませんよ。ある時、ふと思いました。隣の人と同じような傾向があります。メモを作りながら、患難前携挙をあまり言わない方がいいのではないかと思いました。そして、私は気づきました。違う！ で、確信したのは、もっと言うこと。—（笑）— なぜなら、理由は、私は皆さんに大変正直なだけです。私の受信トレイがどんな状態か知ってほしいのです。人々はこう言うのがわかるからで、、、いえ、気にしないでください。言うのは無駄です。

「ちょっと待ってください。牧師さん、どこが患難前携挙に至るのですか？」

OK. OK. 私は携挙を言いましょ。私が言うのは、ラブチャー（携挙/引き上げられる）ギリシア語：ハルパツォ。ラテン語：ラプトウラス。ちなみに、それがあなたへの答えです。第一礼拝でそれを話しまし

た？ それとも、この第二礼拝？ どの礼拝だったのかも覚えていません。それは本当にひどい。しかし、ラテン語：「ラプトゥラス」は、ラテン語のウルガタ聖書があれば、分かります。あなたの聖書にはなくてもね。ここで止めておきます。私のラテン語の聖書にはあります。しかし、ギリシャ語の聖書には「ハルパツォ」と書いてあります。私は「ラブチャー」（携挙）の方が好きです。よりすばやく、より速く聞こえます。「ハルパツォ〜」は、なんか遅い感じがして。彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます/英語：caught up。(1テサロニケ 4：13参照)

「で、どうやってこの狂ったところ（バナナの中）から患難前携挙に至るのですか？」

その理由を言います。理由は、もし携挙が7年の患難前でないなら、18節はまったく意味をなしません。悪く言えば、残酷です。これに注意ください。山は海に落ち、ハワイの島は消えます。さいなら。アロハ。破滅的、激变的、言い表せない、恐ろしく、想像を絶する、かつてないような大惨事。元気を出しなさい。この言葉で互いに励まし合いなさい。(18節) 悪いけど、はい、それは機能しません。何が機能するか話します。

「私たちは患難時代にここにいない。この言葉で互いに励まし合いなさい。」あなたのためにバナナの皮をむいてあげました。楽しんでください。アップルバナナです。— (笑) — アップルバナナは好きですか？

終わろうとしている説教を終わらせます。「ヨハネの福音書」16章5節を読みたいと思います。あと少しです。イエスが話しておられます。主が仰ることを聞いてください。

—ヨハネ 16：5—

しかし今、わたしは、わたしを遣わされた方（御父）のもとに行こうとしています。けれども、あなたがたのうちだれも、『どこに行くのですか』と尋ねません。

—ヨハネ 16：6—

むしろ、わたしがこれらのことを話したため、あなたがたの心は悲しみでいっぱいになっています。

—ヨハネ 16：7—

しかし、わたしは真実を言います。わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのです。去って行かなければ、あなたがたのところに助け主（聖霊/パラクレトス）はおいでになりません。でも、行けば、わたしはあなたがたのところに助け主を遣わします。

言い換えると、訳すと、「あなたがたはわたしを行かせたいのです。わたしは十字架に行きますが、復活の後、あなたがたはわたしを行かせたいのです。あなたがたと一緒にいられないことはわかりますが、でも、わたしが行った後、あなたがたはわたしに行って欲しいはずです。あなたがたはわたしと一緒にいる代わりにわたしはあなたがたの中にいます。」いえ、それについて考えてください。弟子たちは悲しみでいっぱい、彼らの心は大変騒いでいます。イエスが行ってしまわれる。「いやです！ 行かないでください！」イエスが仰います。「違います。あなた方はわたしを行かせたいのです。わたしが行けば、聖霊を送るからです。ですから、あなた方はわたしと一緒にいなくても、わたしは聖霊によってあなた方のうちにいます。あなた方に内住します。」

それを考えてください。あなたには神、聖霊がおられ、内住されています。弟子たちはイエスとずっと一緒にいました。今、彼らには神、聖霊がおられ、内住されています。それは大きな慰めをもたらすはずですが、しかし、さらに良くなります。聖書箇所を間違えました。

「ヨハネの福音書」1節～4節？ 待つて。何？ やらかしました。朝の2時くらいにしましたので、私に優しくしてください。ええと。これは「ヨハネの福音書」16章です。今、どこを読みました？ 「ヨハネの福音書」16章を読みましたよね。で、私たちは16章を読んで、、、おお、「ヨハネの福音書14章」だ、、、、そうそう、「ヨハネの福音書」14章を開いて、スクリーンを見ないでください。1節から4節を読みたいのです。わお。イエスは彼らに語りかけられ、仰います。この箇所をご存知ですね。

—ヨハネ 14：1—

「あなたがたは心を騒がせてはなりません。・・・

なぜ主はそれを仰るのか？ 彼らの心が騒いでいるからです。神が誰かにこう仰る聖書箇所を読む時、

「恐れるな。」その理由は、彼らが恐れていたから！！ さもなければ、なぜ主は「恐れるな。」と仰いますか？「心を騒がせてはなりません。」(ヨハネ 14：1 参照) 彼らの心が騒いでいなければ、なぜ主はそう仰るのでしょうか？ 彼らの心は非常に騒いでいました。なぜ？ 主が彼らにこう告げられたばかりだからです。「わたしは行かねばなりません。あなた方はわたしを行かせたいのです。」

—ヨハネ 14：1—

(しかし、) **あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。**

その理由はこうです。

—ヨハネ 14：2—

わたしの父の家には住む所がたくさんあります。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。

—ヨハネ 14：3—

わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところ(御父の家)に、あなたがたもいるようにするためです。

—ヨハネ 14：4—

わたしがどこに行くのか、その道をあなたがたは知っています。」

このすぐ後にユーモアがあります。もし、読みたいなら、今はやめてください。まだ説教中ですから。が、5節に進むと、イエスがこう仰った直後、トマスはこう言います。

「主よ、どこへ行かれるのか、私たちには分かりません。」(ヨハネ 14：5 参照)

どこに行かれるのですか？ — (笑) — いや、トマスは、、、(苦笑) はい、それって、「～と、それから、トマス。」ペテロと同じように。OK。ここで何をそんなにワクワクするのか？ これが何かわかりますか？ つまり、簡単にできたら。簡単にし過ぎでなければいいのですけど。イエスがこう仰っているようです。聞いてください。「まず、わたしは去らなければ、どうやってあなた方のために戻るのですか？ ですから、わたしはあなたがたに言います。聞きなさい。わたしは戻ります。」「えっ？あなたは去っていません。」「わたしはあなたがたのために戻ります。」「え？ここにいるじゃないですか。」誰かがこう言います。「自分を見つける必要がある。」「なんだって、私が見つけた。あなたはここにいる。」そこまでする必要はありませんでした。ですから、イエスは弟子たちを静め落ち着かせようとされます。「聞きなさい。あなたがたがわたしを行かせたくないのはわかります。でもあなたがたはわたしを行かせたいのです。あなたがた、考えてみてください。わたしが行かなければ、わたしは戻らないからです。わたしは行かなければ戻れないからです。まず、行かなければ、どうやって戻るのですか？ ですから、わたしは行かねばなりません。因みに、わたしが行くところは、わかりますね。わたしの父の家です。わたしは場所を用意しに行きます。」「私たちのために用意してくださっているその場所は何ですか？」婚姻部屋です。弟子たちは理解しました。ヨハネからの手紙を現在のトルコで受け取った人々が、ヨハネが「イザヤ書 11 章 2 節」について語っていることを理解したように、弟子たちはイエスの仰ることを正確に理解しました。実際、それが、イエスがこう仰る理由です。

「あなたがたは知っています。あなたがたはわかります。わたしがここで話していることを。」当時、ユダヤ人の花婿は婚約の後、父親の家に行き、花嫁のために部屋を増築し、婚姻部屋を完成し、結婚を祝います。そして、花婿は盗人が夜やって来るように、誰もわからない時間に来て、花嫁を連れに、花嫁を掠め奪い、

奪い去り、携挙し、花婿が用意した場所に花嫁を連れて行きます。そして、2人が結婚を祝い完了させるのは、7の期間です。そして、「7」の日/年/期間の終わりに完成/成就し、花婿花嫁は、盛大な祝宴、子羊の婚宴のために、その婚姻部屋から出てきます。「7」の期間の終わりに。だから（携挙は）患難前です。患難時代は7年間だからです。ある人が言ったことを気に入っています。世が患難時代の間、私たちはお祝いをする。私は後者をいただきます。7年間です。聞いてください。類型論を台無しにしないでください。それをした結末は、モーセに聞いてください。よくありません。それが類型です。これを見逃さないでください。

「あなたがたは知っています。わたしがあなたがたにこう言う時、あなたがたのために場所を用意に行きます。」（ヨハネ 14：2参照）

これは花婿が花嫁に語りかける言葉です。「わたしが行くなら、戻らねばなりません。戻るためには行かねばなりません。わたしが戻る時、あなたがたを迎えます。」「わたしは戻らず、あなたがたと一緒にいます。」ではありません。「わたしは戻って来て、あなたがたをわたしと一緒に連れて行きます。」「わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。」（ヨハネ 14：3参照）

それが患難前携挙です。そのためにおかしくなる（バナナ）は必要ありません。ー（笑）ー

OK。これで締めくくります。「使徒の働き」1章9節から11節です。ふうー！やり遂げました。「牧師さん、決めつけないで。」OK。そうします。9節を聞いてください。私は「使徒の働き」が大好きです。

#### ー使徒の働き 1：9ー

こう言ってから、イエスは使徒たちが見ている間に上げられた。そして雲がイエスを包み、彼らの目には見えなくなった。

#### ー使徒の働き 1：10ー

イエスが上って行かれるとき、使徒たちは天を見つめていた。すると見よ、白い衣を着た二人の人が、彼らのそばに立っていた。

#### ー使徒の働き 1：11ー

そしてこう言った。「ガリラヤの人たち、どうして天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行くのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになります。」

これが私の締めくくりです。締めくくり/近いという言葉が好きでしょ？ イエス・キリストは死からよみがえられ、主は私たちのために用意されたその場所に私たちを連れて行くために戻って来られます。主が行かれたので、主は戻って来られます。それが良い知らせ/福音です。それが『復活の祝い』です。どうか、この日にイエス・キリストの復活を私たちも一緒に祝いましょう。これを奪われないようにしましょう。敵は私たちから盗み、奪い、殺し、滅ぼすためにやってくるからです。（ヨハネ 10：10）

敵は私たちの希望、祝福された希望を奪い、私たちの喜びを殺し、私たちのクリスチャン人生を滅ぼしたいのです。敵にそれをさせないでください。キリストの復活を祝いましょう。「キリストの復活」は、キリストの来臨を意味します。7年の患難時代前に、イエス・キリストの教会携挙で。この復活の日曜日、

「これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。」（Iテサロニケ 4：18参照）

よし！ カポノ、上がってきてください。ー拍手喝采ー

皆さん、ご起立ください。締めくくりはナイス・フォローでした。ちょっと脱線はしましたけど。

主よ、あなたの恵み、あわれみ、平安、愛、復活を感謝します。この先、あのラップが鳴って、あなたはすぐに来られます。主よ、私たちはただ、待ちきれません。私たちは待ちきれません。あなたの復活を祝うこの日、私たちに非常に必要なことを思い出させます。それが意味することゆえに。その意味はあなたが戻れること。大きな意味があります。私たちにとってそれがすべてです。しかし、私たちへの励ましは、あな

たが私たちのために戻られること。あなたは戻って来られる。あなたは死からよみがえり、私たちのために戻られます。私たちの誰もが想像するよりも携挙は早いと信じます。ですから主よ、ありがとうございます。マラナタ！主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7